

企画展

池田綱政

—岡山の文化をつくりあげた大名—

平成19年10月20日(土) - 12月24日(月)



●開館時間=9時-17時(入館受付は16時30分まで)

月曜日休館(ただし11月5日・12月24日は開館)

●入館料=一般300円 高校生200円 小・中学生無料 友の会会員無料

団体(20名様以上)、シルバーカード・障害者手帳提示の方 2割引

●ギャラリートーク=毎週土曜日 14時から

●主催=財団法人 林原美術館

●共催=第19回全国生涯学習フェスティバル実行委員会

普門品一軸、いざらね冬思ふく二夜
 若也そし火の下と書写 慈眼堂
 小奉納心願はあはれとあり記
 國家安全子孫繁栄にあくく
 堀政、やくと古備のまはりに
 補一近衛の次將、任し延身も
 女卒、わをくあまき福くを家と
 小、は、方、障、始、れ、の、つ、ま、を
 を、わ、ら、を、人、民、使、樂、に、ま、り、給、也
 と、弘、播、し、を、ま、の、こ、と、由、つ、給、也
 庭、い、ま、さ、り、の、海、を、入、り、る
 じ、り、ね、ら、い、ま、ま、の、れ、じ、を、わ

元禄十年王将享月日

右近衛権少将源

観世音菩薩普門品(部分) 池田綱政筆



〈特別講演会〉

日時:平成19年10月25日(木)
13時30分~15時

場所:岡山県立図書館 2階 多目的ホール
参加費:友の会会員:1,000円 / 一般:1,200円

演題:「池田綱政-大名に求められた教養-」

講師:神原邦男氏

(川崎医療福祉大学医療福祉学部教授)

林原美術館

岡山市丸の内2-7-15 TEL(086) 223-1733
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

玉井野宮花車図巻(部分) 池田綱政筆

池田綱政

—岡山の文化をつくりあげた大名—

本展覧会では、岡山藩主池田綱政（1638～1714）の生涯と人物像を、当館で所蔵する資料を中心にふりかえります。

綱政の父である池田光政は、儒学を信奉し天下に知られた名君でした。そのため綱政は、しばしば偉大な父と比較され、江戸時代に編纂された『土芥寇讎記』などの資料には、父に劣る藩主として論じられてきました。

しかし綱政は、寛文12年（1672）に藩主になって以降、禁裏造営、新田開発、百間川の開削、後樂園の築庭、閑谷学校・吉備津彦神社の改築、曹源寺の創建など、藩政・文化事業の両面で父光政に劣らぬ活躍をみせます。現在の岡山を代表する文化遺産の多くは、実は綱政の事績といえます。

当館では、綱政がのこした文書・絵画類や、綱政の愛した学問や能に関する大量の資料を所蔵しています。本展では、延宝3年（1675）の京都御所造営に関する資料や、元禄10年（1697）に後樂園に慈眼堂をつくった記録など、綱政の自筆資料を展示します。ここから綱政が、古典文学や学問に大変造詣が深かったことがわかります。これに加え、綱政の着用した衣装や、綱政の時代に制作された能装束もあわせて展示します。

この展覧会を通して、今回はじめて明らかになった新しい池田綱政の実像と、江戸時代に花開いた元禄文化の水準の高さについて、理解を深めていただければと思います。

（監修 川崎医療福祉大学教授 神原邦男氏）



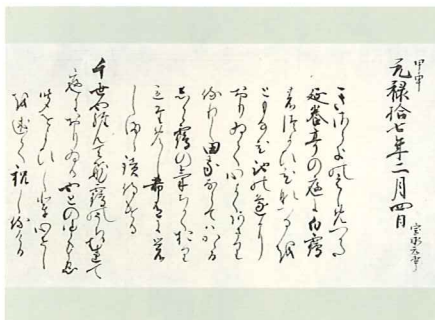
池田綱政画像（池田家歴代画像「縄武像」のうち）



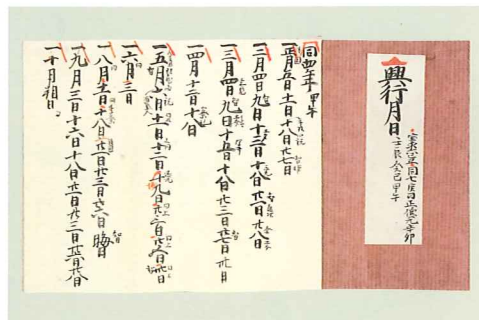
『禁裏御殿之覚書』 池田綱政筆



『小鍛冶』（「能仕舞図絵巻」のうち） 池田綱政筆



『鶴詩歌』（部分） 池田綱政筆



『能興行月日』（部分） 池田綱政筆

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15 TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089

http://www.hayashibara-museumofart.jp

*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展 「能装束—幽玄の美—」
平成20年1月6日(日)～2月11日(月)

江戸時代に能が武家の式楽となるとともに、能装束は形式を整えていき、豪華絢爛な染織品の代表になっていきます。本展では能装束の美しさに触れていただき、その染織技法に焦点を当てた幽玄の世界をご覧ください。